

地域づくりビジョン進捗評価手法の検討 ロジックモデルを活用した指標づくり

報告

2024.3.18

北総研 石井

1. はじめに

【ビジョンの地域の将来像】
田舎だからこそ、
有るもの活かそう！
工夫と協働のといかん

解決したい主な課題

1. 幸せに住み続けられること
2. 若者の移住定住の促進と住宅供給
3. 持続的な産業
4. 新たな地域運営
5. みんなの居場所（複合拠点）づくり
6. 生活利便性の維持

- ・資源活用（価値づけ）
- ・取り組みの工夫（従来からの脱却）
- ・関係者の協働（地域内外みんな参加）

解決・達成

⇒ビジョンの取り組みが、
目標を達成しているか？
をチェックする必要

**従来の活動回数だけで
評価できるのか？**

「ロジックモデル」を使ってといかん独自の評価指標をつくりましょう！

従来の評価方法

目指す評価方法

資源	活動	実施 提供するもの	得られるもの (直接)	得られるもの (中期)	得られるもの (長期)
・ヒト ・モノ ・カネ ・バシヨ ・トキ など	・生活支援サービス ・地域資源学習 ・地場製品の販売 ・地域行事 など	・実施回数 ・参加人数 ・販売数 ・交流する場所 など	・困りごとの解決 ・外出機会の増加 ・地域資源を知る人 の増加 ・収益の増加 ・人と人の交流 など	・困りごとのない生活の確保 ・外出頻度の増加 ・地域資源の保全・活用推進 ・知り合いの増加・孤立の減少 ・可処分所得の増加 など	・住み続けの 実現 ・精神的自立 など

インプット

活動

アウトプット

アウトカム①(2~3年)

アウトカム②

アウトカム③

(地域・団体等活動を行う
ための資源)

(活動結果)

(活動を行うことで得られる
効果・価値)

(5年~)

(10年~)

2. ロジックモデルの進め方

- 2023年9月8日審議会における聞き取り
- 2023年10月18日～19日の関係団体への聞き取り
- その他各種資料から整理

①地域活動のアウトカム調査

- 町内会長や各種団体長に対するヒアリング及び資料調査
→活動の資源、活動、実施結果、アウトカム(効果・意義)
- ビジョンが示すアウトカム把握



②ロジックモデルへの当てはめ

- 調査結果整理(資源、活動、実施結果、アウトカム)
- 関係者での共有



③評価指標の整理

- 評価指標の検討 (資源、活動、実施結果、アウトカムのどこを指標とするか)
- 測定方法の検討 (定量的把握、アンケート等)



④運用・修正

- 指標の測定試行 ・指標の修正等

ロジックモデル活用フロー (案)

3. 地域のアウトカム調査結果（ロジックモデルへの当てはめ）①

分類	団体名	資源	活動	実施	短期アウトカム	中期アウトカム	長期アウトカム
イベント	ワラベン チャー 盆踊り保 存会 美人会	<ul style="list-style-type: none"> ・自然（山菜、川・魚・雪） ・営み（炭鉱、スノーモービル） ・名人（釣り、北大林、農家） ・人（運営：町内会役員、美人会） ・人（補助：テント張り、バイト） ・場所・機材 ・運営ノウハウ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワラベンチャー事業（年3回） ・盆踊り ・神社祭 など 	実施回数 参加人数	<ul style="list-style-type: none"> ・伝える機会（自然の姿や遊び方） ・楽しむ機会（自然で楽しむ） ・出かける機会（子ども、高齢の方） ・交流する機会（親と子、親同士・子同士、地域内外） ・協力する機会（仲間との協力） 	<ul style="list-style-type: none"> ・子供や親の育成 ・自然の姿や遊び方を知っている子ども増加 	<ul style="list-style-type: none"> ・問寒別の恵みを受取り巣立っていく ・地域へ戻ってくる
教育	小中学校 PTA	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校と周辺の自然 ・人（地域の方） ・人のつながり（マンパワー・機材確保） ・幌延中との連携 ・活発な町内活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校行事（リサイクル活動等） ・PTA活動 ・幌延中と連携した授業 ・町内活動と連携した事業 	実施回数 参加人数	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しむ機会（学校で生徒も保護者も楽しめる） ・交流する機会（保護者、地域住民） ・活動費の確保（PTA会費、リサイクル活動の売り上げ） 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTAによる地域の子育てへの理解醸成 ・大人が子供の見本となる ・学校を中心に先生やその家族、生徒が集まり、関係人口が集まる 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校が維持され、地域に賑わいをもたらす
子育て	おひさま子 育て会	<ul style="list-style-type: none"> ・人材（ボランティア） ・中学生ボランティア ・場所（生涯学習センター） ・遊ぶもの ・予算 	<ul style="list-style-type: none"> ・おひさま子育て会活動 ・他団体とのコラボ 	実施回数 コラボ回数 参加人数	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の楽しむ機会 ・子どもの遊び場づくり ・親や子の交流の機会（市街地・農家の子を持つ親の交流の場） 		
サークル活動	サークル協 議会 パークゴルフ PG愛好会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の各サークル団体(釣り、カラオケ、陶芸、そば、手芸、PG) ・各会構成員の会費+補助金 ・人（準備、参加） ・場所（PG場、カラオケハウス等） ・草刈り機・集草機（地元企業貸与） 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭 ・各サークル活動の会計事務、補助金申請、配分 ・パークゴルフ大会 ・パークゴルフ場草刈り ・その他サークル活動 	実施回数 参加人数 草刈り回数	<ul style="list-style-type: none"> ・物々交換の機会（釣った魚、手芸品等のやりとり） ・発表を通じた個人の趣味や楽しみ、能力向上の機会 ・楽しむ機会（パークゴルフをやりたい人の集まり） 	サークル団体の交流の機会創出	地域の振興

3. 地域のアウトカム調査結果（ロジックモデルへの当てはめ）②

分類	団体名	資源	活動	実施	短期アウトカム	中期アウトカム	長期アウトカム
住民自治	町内会活動	<ul style="list-style-type: none"> ・人・役員 ・蓄積された行事運営ノウハウ ・ミニショベル 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会運営（会費等徴収、回覧板、会議運営、行事実施） ・町内会長・班長会議 ・レク（PG） ・総会 ・町の会議への参加 	<ul style="list-style-type: none"> 行事回数 町内会員数 	町内会会員の協力		郷土を愛し、明るく住みよい街づくり
神社	神社	<ul style="list-style-type: none"> ・人（町内会の神社委員） ・人（祭りの設営等の支援者） 	<ul style="list-style-type: none"> ・掃除・除雪・草刈り ・神社祭・夜宮 ・餅まき・大晦日 ・上記準備、片付け 	<ul style="list-style-type: none"> 実施回数 参加人数 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域みんなが参加する場 ・子供や大人の楽しみの場 ・帰省した子どもの交流の場 		
福祉	福祉事業 民生委員	<ul style="list-style-type: none"> ・人（利用者、地域の方、民生委員） ・行事（町生きがい教室、健康教室等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・見回り ・昼食会 ・コラボ事業（町生きがい教室・健康教室等と連携） 	<ul style="list-style-type: none"> 独居一人暮らしの参加人数 障がい者の参加人数 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加する機会（障害を持った方が地域の一員として活動に参加） ・交流の機会（地域の人との温かい声掛け） ・出かける機会（独居一人暮らしの方など） 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害を持った方が地域内を自由に歩く社会 ・障害を持った方の成長につながる ・地域活動への支援 ・若い方との連携促進 	
ボランティア	日赤奉仕団	<ul style="list-style-type: none"> ・人（団員、地域おこし協力隊） ・資金（年会費と補助金、参加費） 	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉施設支援（北星園の運動会、収穫祭支援） ・布の提供 ・花壇整備 ・駅の掃除 ・神社関係（半纏洗濯、破魔矢リサイクル） 	<ul style="list-style-type: none"> 活動回数 参加人数 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しむ機会（顔合わせでお茶して楽しむ場） ・喜んでもらう機会（喜んでもらうことがメインではない） 		
防災	自主防災組織	<ul style="list-style-type: none"> ・組織役員 ・備蓄・資機材 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災グッズの管理 ・安否者確認メモ作成 ・ヘルメット管理・貸出 ・避難訓練 	<ul style="list-style-type: none"> 活動回数 参加人数 	<ul style="list-style-type: none"> ・知識を得る機会（災害を知る、対応策を知る） ・協力する機会 	<ul style="list-style-type: none"> ・安心感の醸成 	

3. 地域のアウトカム調査結果（ロジックモデルへの当てはめ）③

分類	団体名	資源	活動	実施	短期アウトカム	中期アウトカム	長期アウトカム
交通	地域交通	・人（運転手、地域おこし協力隊） ・機材（車）	・患者輸送バス ・サポート交通	実施回数 利用人数	・出かける機会（免許のない人などが医療、買い物など） ・楽しむ機会（安心してたくさん買い物ができる）	・買い物に対して不安がなくなる	
酪農	酪農業	・酪農業・酪農家 ・研修生受入場所	・酪農業 ・研修生受入れ	受入農家数 受入人数	・働く機会（酪農で働く場がある） ・地域産業のPRの機会	・酪農のサポーターの輩出	・産業の維持
建設	建設業	・人 ・機材	・建設業（建物・インフラ建設・管理等） ・地域行事支援 ・研究林の維持管理	地域貢献活動実施回数	・働く機会（地元で就職先がある） ・地域の維持管理機能維持（地域のインフラ管理が持続）		・建設業の維持 ・地域のインフラの維持
森林	北大研究林	・北大研究林 ・研究施設 ・人（研究職員）	・研究活動 ・地域振興への木材利用	研究員数 木材等利用回数	・関係人口の参加の機会 ・木材による地域産物の付加価値化	・地域資源の価値増大	
その他	メモトック	・鉄道資源 ・空き店舗 ・人（空き店舗紹介）	・特産品販売 ・まちづくり等コンサルティング		・地域外から地域活動への参加機会 ・移住・起業PRの機会 ・空き店舗の活用機会	・新たな移住・起業の誘発	人の存在が地域の賑わいを作り出す

4. 既存地域活動に基づく評価指標の整理

① 既存地域活動より評価指標の抽出

	「資源」より抽出した指標	「活動」より抽出した指標	実施	「短期アウトカム」より抽出した指標	「中期アウトカム」より抽出した指標	「長期アウトカム」より抽出した指標
	<ul style="list-style-type: none"> ・といかんの自然資源を活用した取り組み・商品開発となっているか ・といかんの人材（農家・元農家、名人、小中学生など）が活躍しているか ・といかんの人のつながりを生かした取り組みとなっているか ・といかんの産業や生活の営みが活動に生かされているか ・といかんの趣味活動に触れる取り組みとなっているか ・といかんの資機材を有効に活用できているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・各団体がコラボした活動となっているか ・誰でも制限なく参加できる活動内容となっているか ・地域外からの行事や産業への参加機会が確保されているか 		<ul style="list-style-type: none"> ・といかんの魅力を子や親に伝える機会が得られているか ・といかんの自然で楽しむ機会が得られているか ・子ども、高齢の方、しょうがいを持たれた方などが出かける機会が得られているか ・しょうがいを持たれた方が地域の一員として活動に参加できているか ・親と子、親同士・子同士、地域内外が交流する機会が得られているか ・仲間と協力する機会が得られているか ・仲間と楽しむ機会が得られているか ・関係人口が参加する機会が得られているか ・資源の交換・共有の機会が得られているか ・活動に困らない資金が得られているか ・個人の趣味や能力の向上、知識を得る機会が得られているか ・地域の産業や地域運営で働く機会が得られているか ・地域産業などをPRする機会が得られているか ・地域の自然環境やインフラの機能維持保全に寄与しているか ・地域の資源に付加価値を与える活動ができているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの育成につながっているか ・親の育成や交流につながっているか ・親が子どもの見本となりえているか ・学校を中心に先生やその家族、生徒、関係人口が集まる状況ができているか ・しょうがいを持った方も自由に街を歩けているか ・災害に対して安心した暮らしができているか ・買い物に対して不安のない生活ができているか ・酪農をサポートする人が増えているか ・新たな移住・起業の誘発につながっているか ・地域資源の価値増大につながっているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の産業が持続的な地域になりえているか ・自然環境、街並みやインフラが持続的に管理されているか ・人がいて賑わいが持続しているか ・また戻ってきたい地域になりえているか

4. 既存地域活動に基づく評価指標の整理

② 既存地域活動より評価指標の整理

	(資源・活動より) 資源活用・運営指標	活動の効果 (短期アウトカム)	活動の波及 (中期アウトカム)	将来像の実現 (長期アウトカム)
交流・協力	<ul style="list-style-type: none"> ・といかんの人材（農家・元農家、名人、小中学生など）が活躍しているか ・といかんの人のつながりを生かした取り組みとなっているか ・といかんの資機材を有効に活用できているか ・各団体がコラボした活動となっているか ・誰でも制限なく参加できる活動となっているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども、高齢の方、しょうがいを持たれた方が出かける機会が得られているか ・親と子、親同士・子同士、関係人口が参加・交流する機会が得られているか ・仲間と楽しむ機会が得られているか ・仲間と協力する機会が得られているか ・しょうがい者が活動に参加できているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校を中心に先生やその家族、生徒、関係人口が集まる状況ができていますか ・しょうがいを持った方も自由に街を歩いているか ・災害に対し安心な暮らしが可能か ・買い物不安な生活が可能か 	<ul style="list-style-type: none"> ・人がいて賑わいが持続しているか
教育	<ul style="list-style-type: none"> ・といかんの自然資源を活用した取り組みとなっているか ・といかんの趣味活動を活用した取り組みとなっているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・といかんの魅力を子や親に伝える機会が得られているか ・といかんの自然で楽しむ機会が得られているか ・個人の趣味や能力の向上、知識を得る機会が得られているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの育成につながっているか ・親の育成や交流につながっているか ・親が子どもの見本となりえているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・また戻ってきたい地域になりえているか
多様化	<ul style="list-style-type: none"> ・といかんの産業や生活の営みが活動に活かされているか ・地域外からの行事や産業への参加機会が確保されているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動に困らない資金が得られているか ・地域の産業や地域運営で働く機会が得られているか ・地域産業などをPRする機会が得られているか ・地域資源の交換・共有の機会が得られているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな移住・起業の誘発につながっているか ・地域産業をサポートする人が増えているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の産業が持続的な地域になりえているか
付加価値化	<ul style="list-style-type: none"> ・といかんの自然資源を活用した取り組み・商品開発が行われているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の自然環境やインフラの機能維持保全に寄与しているか ・地域の資源に付加価値を与える活動ができているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源の価値増大につながっているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境、街並みやインフラが持続的に管理されているか

5. ビジョンのプロジェクトのアウトカム整理

①ビジョンが目指すアウトカムの整理（ロジックモデルへの当てはめ）

	資源	活動	実施	短期アウトカム	中期アウトカム	長期アウトカム
1. ごちゃまぜプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・といかんに住む全ての人 ・人の特技（菓子や漬物づくり） ・運転できる人材 ・人のつながり 	<ul style="list-style-type: none"> ・いつでもみんなが気軽に集まれるたまり場づくり ・地域みんなの活躍の場づくり 		<ul style="list-style-type: none"> ・いつでもみんなが気軽に集まれる機会 ・障がい者や高齢者の活躍、自分の役割が発揮できる機会 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな人が交わり、ある時は支え合い、ある時は誰かを支え、ある時は助けられる 	<ul style="list-style-type: none"> ・問寒別地区で幸せに住み続けられる
2. 多様な住まいと住み続けプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・といかんの人（若者就業層と家族、農業の第一線を退いた人、農業研修生） 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な働き方に対応した住宅づくり ・アグリコレクティブハウス（農村型集合住宅） 		<ul style="list-style-type: none"> ・リモートワーク、ワーケーション、コワーキングスペースなど多様な働き方ができる場 ・多様な収入層が入居可能 ・除雪負担が軽減される ・たまり場になる（食事、漬物教室等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい働き方やライフスタイル、多様な住まい方が可能となる ・戸建てに住めなくなっても快適・安心に住める ・豊かな人間性を備えた人の育成 ・といかんの思い出形成 ・大人も幸せになれる 	<ul style="list-style-type: none"> ・若者就業層などの移住定住の増加 ・問寒別地区に住み続けられる
3. 子どもは地域で育むプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・問寒別地区の豊かな自然 ・問寒別地区の強みであるコミュニティ（人のつながり） 	<ul style="list-style-type: none"> ・おひさま子育て会・ワラベンチャー問寒クラブなど地域独自の子育て活動の持続的展開 ・地域みんながPTA 		<ul style="list-style-type: none"> ・地域みんなで子どもを育む ・といかんの良さを伝える 	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな人間性を備えた人の育成 ・といかんの思い出形成 ・大人も幸せになれる 	<ul style="list-style-type: none"> ・大人になって都会に行っても、Uターン
4. 自分ごと地域運営プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・地域外からの人材 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民主体の地域運営組織形成 ・町内会活動や各種行事支援 ・生活支援・公的機能（地域インフラの維持管理や交通・除雪・草刈り等生活サービス、公営住宅管理） ・地域情報の収集と発信 		<ul style="list-style-type: none"> ・既存組織のリーダー不足等課題解消 ・徒歩生活者の外出機会が創出される ・公的機能の効率化・効果増大 ・問寒別地区のブランド力向上 ・空き家、雇用などの情報を収集発信し地域内産業を支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・除雪や施設の運営などきめ細やかな生活サービスが維持され不安のない暮らしが実現できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・人口が減っても、快適で安心に暮らす
5. ずっと続く産業プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・といかんの資源 ・地域の子どもや高齢者 ・といかんの人の能力 ・すきま時間（子育て世代やリタイア世代含む） ・地元事業者の臨時的な雇用 	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用確保や研修生募集・受入れ ・人材融通と仕事・サービスの共同化（共同配食、人材育成など） ・労働力の確保（プチビジネスハローワーク） ・「といかん共同果樹園」の運営 		<ul style="list-style-type: none"> ・地域で産業を支える仕組み構築 ・複数仕事組合せによる通年雇用化 ・生きがいの場の形成 ・新たな働き方や「プチビジネス」に挑戦できる環境の創出 	<ul style="list-style-type: none"> ・人材確保の効率化 ・新たなビジネス創出 ・雇用創出と定住促進 ・地域循環型経済に寄与 	<ul style="list-style-type: none"> ・ずっと続く産業
6. 小さな多機能複合拠点プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民 ・関係人口 ・地域資源である空き店舗等 	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家・空き店舗の活用による小さな多機能拠点づくり 		<ul style="list-style-type: none"> ・買物や飲食の機会創出 ・お話ができる機会創出 ・空き店舗の活用促進 ・地域住民や関係人口の居場所形成 ・情報の収集発信基地形成 ・地域の活性化を議論する機会創出 ・気軽に「挑戦」できる場の形成 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活のほとんどの機能が確保される 	<ul style="list-style-type: none"> ・利便性が確保される
7. “当たり前”に新たな価値を吹き込むプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・といかんに当たり前にある資源（真っ白な雪原、豊かな山菜、清流等） ・手工芸品など地域活動の産物 ・研究機関や秘境駅の関係人口 	<ul style="list-style-type: none"> ・問寒別地区の良さの地域内外への発信 ・リーダーレスな「といかん・みんなの市」の開催運営 		<ul style="list-style-type: none"> ・関係人口（域外の方）からの視点によるといかんの良さのさらなる発見 ・地域外に発信する機会 ・といかん・みんなの市によるプチビジネスを展開 	<ul style="list-style-type: none"> ・「といかん」ファンを増やす ・地域内の誇りを醸成 	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代に誇りをつなぐ

5. ビジョンのプロジェクトのアウトカム整理

② 既存評価指標にビジョンのアウトカム当てはめ

個別事業の企画立案と評価

ビジョンの進捗評価

	(資源・活動より) 資源活用・運営指標	活動の効果 (短期アウトカム)	活動の波及 (中期アウトカム)	将来像の実現 (長期アウトカム)
交流・協力	<ul style="list-style-type: none"> • といかんの人材(農家・元農家、名人、小中学生、農業研修生等)が活躍しているか • といかんの人のつながりを生かした取り組みとなっているか • といかんの資機材を有効に活用できているか • 各団体がコラボした活動となっているか • 誰でも制限なく参加できる活動となっているか 	<ul style="list-style-type: none"> • 子ども、高齢の方、しょうがいを持たれた方が出かける機会が得られているか • 親と子、親同士・子同士、関係人口が参加・交流する機会が得られているか • 仲間と楽しむ機会が得られているか • 仲間と協力する機会が得られているか • しょうがい者が活動に参加できているか 	<ul style="list-style-type: none"> • 学校を中心に先生やその家族、生徒、関係人口が集まる状況ができていますか • しょうがいを持った方も自由に街を歩いているか 	<ul style="list-style-type: none"> • 人がいて賑わいが持続しているか
地域運営	<ul style="list-style-type: none"> • 会議の回数を減らす工夫がされているか • リーダーに負担が集中しないよう工夫されているか 	<ul style="list-style-type: none"> • リーダー不足等既存組織の課題解消につながっているか • 公的機能の効率化・効果増大に寄与するか • 買物や飲食、生活サービスの機会があるか 	<ul style="list-style-type: none"> • 生活サービスが維持され不安ない生活が可能か • 災害に対し安心な暮らしが可能か 	<ul style="list-style-type: none"> • 人口が減っても、快適で安心に暮らせるか
教育	<ul style="list-style-type: none"> • といかんの自然資源を活用した取り組みとなっているか • といかんの趣味活動を活用した取り組みとなっているか 	<ul style="list-style-type: none"> • といかんの魅力を子や親に伝える機会が得られているか • といかんの自然で楽しむ機会が得られているか • 個人の趣味や能力の向上、知識を得る機会が得られているか 	<ul style="list-style-type: none"> • 子どもの育成につながっているか • 親の育成や交流につながっているか • 親が子どもの見本となりえているか 	<ul style="list-style-type: none"> • また戻ってきたい地域になりえているか
多様化	<ul style="list-style-type: none"> • といかんの産業や生活の営みが活動に生かされているか • 地域外からの行事や産業への参加機会(臨時的なものも含め)が確保されているか • 地域の方々のすきま時間が産業に生かされているか 	<ul style="list-style-type: none"> • リモートワーク、ワーケーション、コワーキングなど多様な働き方ができる場があるか • 活動に困らない資金が得られているか • 地域の産業や地域運営で働く機会があるか • 複数仕事組合せ・人材を複数産業で共有等の雇用確保、人材確保の工夫があるか • 地域産業をPRする機会が得られているか • 新しいビジネスに挑戦できる機会があるか 	<ul style="list-style-type: none"> • 新しい働き方やライフスタイル、多様な住まい方が可能か • 新たな移住・起業の誘発につながっているか • 地域産業をサポートする人が増えているか • お金が地域の中で回っているか 	<ul style="list-style-type: none"> • 若者などが移住定住の地としてといかんを選んでいるか • 地域の産業が持続的な地域になりえているか
付加価値化	<ul style="list-style-type: none"> • といかんの自然資源を活用した取り組み・商品開発が行われているか • 地域外の関係人口が付加価値化にかかわっているか 	<ul style="list-style-type: none"> • 地域資源の交換・共有・発信の機会が得られているか • 地域の自然環境やインフラの機能維持保全に寄与しているか • 地域資源への付加価値化ができていますか 	<ul style="list-style-type: none"> • 地域資源の価値増大につながっているか • 「といかん」ファンの増加につながっているか • 地域内の誇りが醸成できているか 	<ul style="list-style-type: none"> • 自然環境、街並みやインフラが持続的か • 次世代に誇りが継承されているか

① 個別の事業や活動の企画・評価時のチェックリストとして

といかんアウトカム指標に基づく個別事業・活動の企画・評価チェックリスト

2024.3.18案

活用方法：活動の企画者が活動内容を検討する際に利用

活用・運営指標

番号	項目	対応状況 ○×	具体的方法 (×の場合の理由)
交流・協力1	といかんの人材（農家・元農家、名人、小中学生、農業研修生等）が活躍しているか		
交流・協力2	といかんの人のつながりを生かした取り組みとなっているか		
交流・協力3	といかんの資機材を有効に活用できているか		
交流・協力4	各団体がコラボした活動となっているか		
交流・協力5	誰でも制限なく参加できる活動となっているか		
地域運営1	会議の回数を減らす工夫がされているか		
地域運営2	リーダーに負担が集中しないよう工夫がされているか		
教育1	といかんの自然資源を活用した取り組みとなっているか		
教育2	といかんの趣味活動を活用した取り組みとなっているか		
はたらき1	といかんの産業や生活の営みが活動に生かされているか		
はたらき2	地域外からの行事や産業への参加機会（臨時的なものも含め）が確保されているか		
はたらき3	地域の方々とのすきま時間が産業に生かされているか		
付加価値化1	といかんの自然資源を活用した取り組み・商品開発が行われているか		
付加価値化2	地域外の関係人口が付加価値化にかかわっているか		

想定される活動の効果

番号	項目	対応状況 ○×	具体的方法 (×の場合の理由)
交流・協力8	子ども、高齢の方、しょうがいを持たれた方が出かける機会が得られているか		
交流・協力9	親と子、親同士・子同士、関係人口が参加・交流する機会が得られているか		
交流・協力10	仲間と楽しむ機会が得られているか		
交流・協力11	仲間と協力する機会が得られているか		
交流・協力12	しょうがい者が活動に参加できているか		
地域運営3	リーダー不足等既存組織の課題解消につながっているか		
地域運営4	公的機能の効率化・効果増大に寄与するか		
地域運営5	買い物や飲食、生活サービスの機会があるか		
教育3	といかんの魅力を子や親に伝える機会が得られているか		
教育4	といかんの自然で楽しむ機会が得られているか		
教育5	個人の趣味や能力の向上、知識を得る機会が得られているか		
はたらき3	リモートワーク、ワーケーション、コワーキングなど多様な働き方ができる場があるか		
はたらき4	活動に困らない資金が得られているか		
はたらき5	地域の産業や地域運営で働く機会が提供できているか		
はたらき6	複数仕事組合せ・人材を複数産業で共有等の雇用確保、人材確保の工夫があるか		
はたらき7	地域産業をPRする機会が得られているか		
はたらき8	新しいビジネスに挑戦できる機会があるか		
付加価値化3	地域資源の交換・共有・発信の機会が得られているか		
付加価値化4	地域の自然環境やインフラの機能維持保全に寄与しているか		
付加価値化5	地域の資源に付加価値を与える活動ができているか		

今後の活用

① 本チェックリストを活用して、既存の活動を個別に評価してみる
⇒令和6年度から随時実施したい

② 今後、様々な事業や活動を企画する際に、企画者が本シートをチェックリストとして活用する

黒：既存の地域活動に基づく指標
オレンジ：ビジョンに基づく指標

5. 評価指標の活用

②ビジョンに対する進捗評価の項目として（アウトカム指標を住民の評価に活用）

といかんアウトカム指標に基づくビジョンの進捗評価

2024.3.18策

調査方法：毎年1回の全住民へのアンケート

活用・運営指標

番号	項目	評価（5段階）	特にそう感じた 行事や取り組み
交流・協力1	といかんの人材（農家・元農家、名人、小中学生、農業研修生等）が活躍しているか	5 4 3 2 1	
交流・協力2	といかんの人のつながりを生かした取り組みとなっているか	5 4 3 2 1	
交流・協力3	といかんの資機材を有効に活用できているか	5 4 3 2 1	
交流・協力4	各団体がコラボした活動となっているか	5 4 3 2 1	
交流・協力5	誰でも制限なく参加できる活動となっているか	5 4 3 2 1	
地域運営1	会議の回数を減らす工夫がされているか	5 4 3 2 1	
地域運営2	リーダーに負担が集中しないよう工夫がされているか	5 4 3 2 1	
教育1	といかんの自然資源を活用した取り組みとなっているか	5 4 3 2 1	
教育2	といかんの趣味活動を活用した取り組みとなっているか	5 4 3 2 1	
はたらき1	といかんの産業や生活の営みが活動に生かされているか	5 4 3 2 1	
はたらき2	地域外からの行事や産業への参加機会（臨時的なものも含め）が確保されているか	5 4 3 2 1	
はたらき3	地域の方々のすまみ時間が産業に生かされているか	5 4 3 2 1	
付加価値化1	といかんの自然資源を活用した取り組み・商品開発が行われているか	5 4 3 2 1	
付加価値化2	地域外の関係人口が付加価値化にかかわっているか	5 4 3 2 1	

想定される活動の効果

番号	項目	評価（5段階）	特にそう感じた 行事や取り組み
交流・協力8	子ども、高齢の方、しょうがいを持たれた方が出かける機会が得られているか	5 4 3 2 1	
交流・協力9	親と子、親同士・子同士、関係人口が参加・交流する機会が得られているか	5 4 3 2 1	
交流・協力10	仲間と楽しむ機会が得られているか	5 4 3 2 1	
交流・協力11	仲間と協力する機会が得られているか	5 4 3 2 1	
交流・協力12	しょうがい者が活動に参加できているか	5 4 3 2 1	
地域運営3	リーダー不足等既存組織の課題解消につながっているか	5 4 3 2 1	
地域運営4	公的機能の効率化・効果増大に寄与するか	5 4 3 2 1	
地域運営5	買い物や飲食、生活サービスの機会があるか	5 4 3 2 1	
教育3	といかんの魅力を子や親に伝える機会が得られているか	5 4 3 2 1	
教育4	といかんの自然で楽しむ機会が得られているか	5 4 3 2 1	
教育5	個人の趣味や能力の向上、知識を得る機会が得られているか	5 4 3 2 1	
はたらき3	リモートワーク、ワーケーション、コワーキングなど多様な働き方ができる場があるか	5 4 3 2 1	
はたらき4	活動に困らない資金が得られているか	5 4 3 2 1	
はたらき5	地域の産業や地域運営で働く機会が提供できているか	5 4 3 2 1	
はたらき6	複数仕事組合せ・人材を複数産業で共有等の雇用確保、人材確保の工夫があるか	5 4 3 2 1	
はたらき7	地域産業をPRする機会が得られているか	5 4 3 2 1	
はたらき8	新しいビジネスに挑戦できる機会があるか	5 4 3 2 1	
付加価値化3	地域資源の交換・共有・発信の機会が得られているか	5 4 3 2 1	
付加価値化4	地域の自然環境やインフラの機能維持保全に寄与しているか	5 4 3 2 1	
付加価値化5	地域の資源に付加価値を与える活動ができているか	5 4 3 2 1	

活動の波及

番号	項目	評価（5段階）	特にそう感じた 行事や取り組み
交流・協力13	学校を中心に先生やその家族、生徒、関係人口が集まる状況ができているか	5 4 3 2 1	
交流・協力14	しょうがいを持った方も自由に街を歩いているか	5 4 3 2 1	
地域運営6	生活サービスが維持され不安な生活が可能か	5 4 3 2 1	
地域運営7	災害に対し安心な暮らしが可能か	5 4 3 2 1	
教育6	子どもの育成につながっているか	5 4 3 2 1	
教育7	親の育成や交流につながっているか	5 4 3 2 1	
教育8	親が子どもの見本となりえているか	5 4 3 2 1	
はたらき9	新しい働き方やライフスタイル、多様な住まい方が可能か	5 4 3 2 1	
はたらき10	新たな移住・起業の誘発につながっているか	5 4 3 2 1	
はたらき11	地域産業をサポートする人が増えているか	5 4 3 2 1	
はたらき12	お金が地域の中で回っているか	5 4 3 2 1	
付加価値化6	地域資源の価値増大につながっているか	5 4 3 2 1	
付加価値化7	「といかん」ファンの増加につながっているか	5 4 3 2 1	
付加価値化8	地域内の誇りが醸成できているか	5 4 3 2 1	

将来の現実

番号	項目	評価（5段階）	特にそう感じた 行事や取り組み
交流・協力15	人がいて賑わいが持続しているか	5 4 3 2 1	
地域運営8	人口が減っても、快適で安心に暮らせるか	5 4 3 2 1	
教育9	また戻ってきた地域になりえているか	5 4 3 2 1	
はたらき13	若者などが移住定住の地としてといかんを選んでいるか	5 4 3 2 1	
はたらき14	地域の産業が持続的な地域になりえているか	5 4 3 2 1	
付加価値化9	自然環境、街並みやインフラが持続的か	5 4 3 2 1	
付加価値化10	次世代に誇りが継承されているか	5 4 3 2 1	

今後の活用

- ①現状評価を実施 ⇒令和6年度当初を予定
- ②毎年度末に実施
- ③評価項目の精査（まだ評価指標は完全ではない）
⇒現状の見直し、現状とビジョンの接合、
ビジョンの見直しを含め検討

黒：既存の地域活動に基づく指標

オレンジ：ビジョンに基づく指標